

か お 顔をかいてみよう！

せいさくじ かん
制作時間
4 じ かん

じぶん とも かぞく かお
自分や友だち、家族の顔をかいてみましょう。

ね ら い

に があえ
似顔絵をかくには、
め はな くち
目、鼻、口などのパーツの
おお い ち
大きさや位置を
よく み
見てかくことが
たいせつ
大切だよ！
あたま かた
頭のてっぺんから肩までを
がめん い
画面に入ると
こうす
バランスのよい構図に
なるよ。



かお
顔
デッサン
すいさい
水彩

1

お お かたち 大まかな形をとらえよう

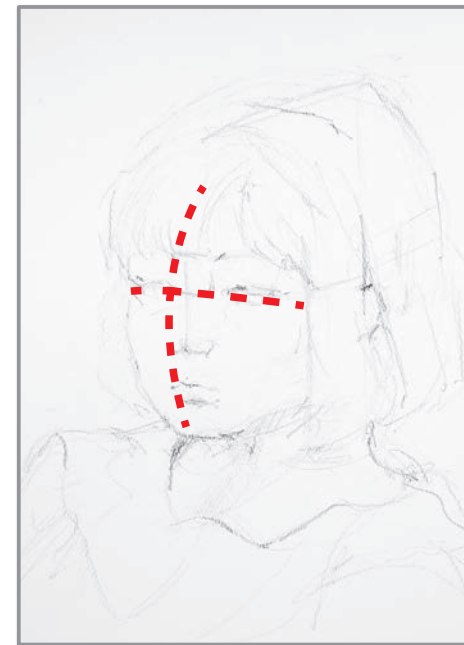
はじめに、かお 顔をよく かんさつ 観察して大まかな形をとらえます。ここでかお 顔をむ 向きとパーツの
い ち き ぜんたい すす
位置を決めると、全体をかき進めやすくなります。

かお かんさつ 顔を観察しよう

じぶん い がい ひと ば あい
自分以外の人をかく場合はできるだけ本人を目の前
にして、じぶん 自身をかく場合は立て鏡を使って、かお 顔を
かんさつ 観察します。しょうめん 正面からだけでなく、できるだけぜん 前後左
う 右からかんさつ 観察しましょう。め はな くち おお
目の大きさや、特
てき ちよう ちょう 的なところを見つけておきます。



おんな こ かお
女の子の顔をかきます。ふっくらしたほおやくち まる
丸みのあ
る髪型が特ちょう 的です。



お お かたち 大まかに形をかこう

ビー ビー
2B や 3B のやわらかいえんぴつを使って、かお 顔、くび
かた 肩の形を紙に大まかにかきましょう。はなすじ 鼻筋に沿って たて
ほうこう 縦方向に、め たか そ よこほうこう 横方向に十字線を引きます。
このせん 線を参考にすると、め はな くち 目、鼻、口、まゆ毛、耳の位
ち 置をとらえやすくなります。かみ 髪は、あたま 頭の形を意識
してかきましょう。

ば あい
デッサンの場合→ 14 ページへ すいさい ば あい
水彩の場合→ 18 ページへ



かお まる かたち そ じゅうじ せん まる
顔の丸い形に沿って、十字線も丸みをもたせてかきました。

仕上げをしよう

さいごに、細めの筆を使って細かくかきます。その人らしさが出るように、ひとつひとつのパーツをよく観察して仕上げましょう。

かんせいさくひん
完成作品



紙の白さを活かした
明るい印象の
絵になったね！
髪の毛、肌、服の
質感が伝わってくるよ。



肌や髪の毛を細かくかこう

細めの筆を使い、絵の具をとく水の量は、顔水彩3より少なくします。顔水彩3でつくった肌や髪の毛の色より一段階明るい色と一段階暗い色をつくりま。この色を使って、肌や髪の毛をかきましょう。



出っ張っているところの下側に暗い色をのせました。



パーツをひきしめよう

目、まゆ毛、鼻、口をしっかりといて、ひきしめましょう。白系の色で、ひとみにハイライトを入れると、生き生きとした表情になります。



服の模様をかいて質感を出しました。



全体を確認しよう

絵をかきはじめるときに意識した、その人らしさは出ていますか？ 顔の大きなつくりや、凹凸が表現できましたか？ さいごに暗い色を使って、もっとも暗いところをかきこんで絵をひきしめたら完成です。



ほおに赤めの色をのせました。

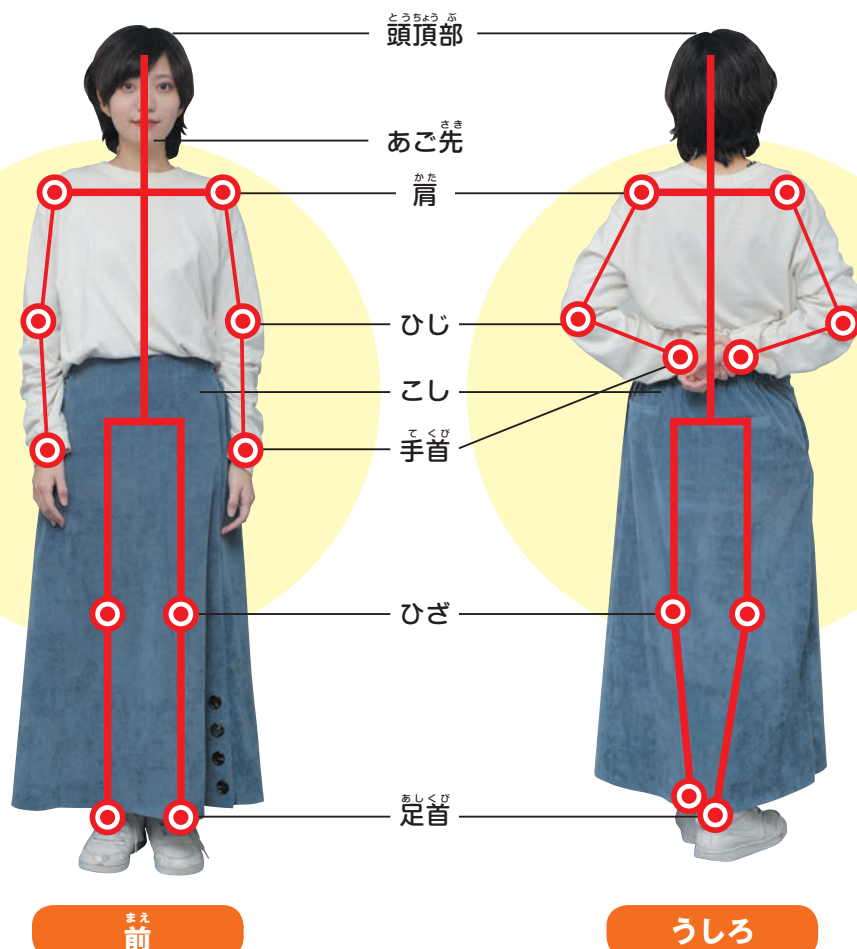


からだ 体のバランスをつかもう

人物をかくときは、体のつくりを正確にとらえることが重要です。ここでは「体の軸」や「関節」に注目し、ポーズごとに気をつけるポイントをしょうかいします。

体の軸と関節

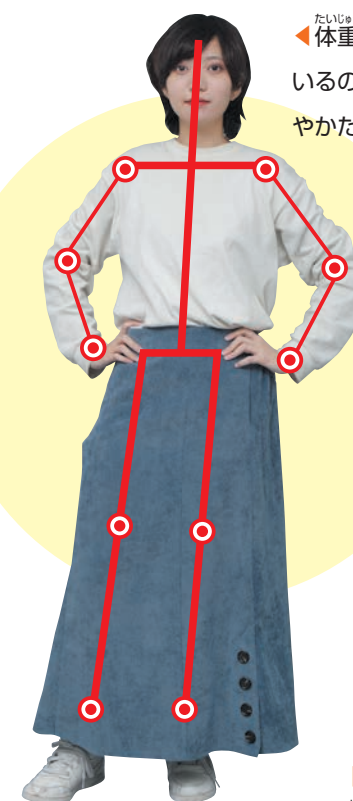
体の軸の角度や関節の位置に注目すると、人物を正確なバランスでかくことができます。体の軸は、①頭からこしにかけて、②右肩から左肩にかけて、③足の付け根から足首にかけて、線を引くと位置がよくわかります。関節は、関節から関節までの長さや、位置に注目しましょう。



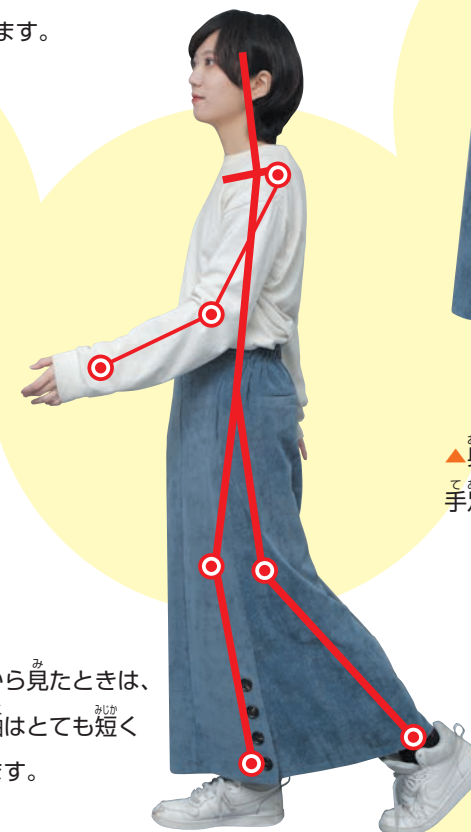
さまざまなポーズ

ポーズが変わると、体の軸の角度や、関節の見えかたが変わります。

体重を左足にかけているので、足の軸がややかたむきます。



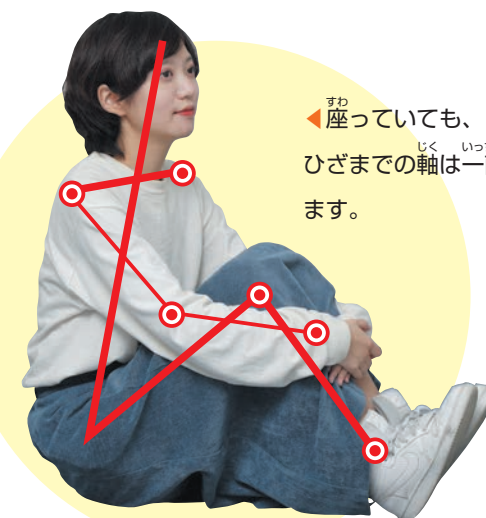
横から見たときは、肩の軸はとても短くなります。



奥側にある手足よりも、手前側にある手足のほうがわずかに長く見えます。



座っていても、こしからひざまでの軸は一直線になります。



左足と右足をそろえているので、2本の足の角度はほぼ同じです。

